

# せいろう

Seiro Town

# 議会だより

Vol.116

9月議会

平成28年  
10月21日発行

新潟県聖籠町議会

青空に向かってフアイト!!  
(聖中祭)

住みたい町へ 目指せ人口増

～平成27年度決算を認定～

2～5ページ

11人が一般質問

12～23ページ

委員会レポート

24～25ページ

# 住みたい町へ

# めざせ人口増

## 平成27年度 決算

### 町のお金

## こんな事業に使われました！

～注目事業を紹介します～

#### 山大夫宅地購入助成事業



207万円

#### 山倉児童クラブ建設事業



4551万円

#### NPO法人 環境美化ネットせいろう助成事業



737万円

#### 生ごみ堆肥化事業 (収集運搬・施設管理運営)



5004万円

#### 聖籠中学校の冬季通学バス運行事業



1492万円

### 一般会計決算

歳入 73億2279万円 (前年度対比 ▲ 9.9)

歳出 69億4147万円 (前年度対比 ▲11.3)

▼平成27年度決算は、歳入総額73億2279万円、前年度比9.9%増。決算比較8億823万円の減。歳出総額69億4147万円で前年度比11.3%減、決算比較で、8億8757万円の減。繰越明許費881万円を差し引いた実質収支は、3億7251万円の黒字決算となった。

町の財政は、国の税制改革や経済・景気の動向で、財源確保には年々厳しい情勢下にある。限られた予算で、町民の福祉向上や安全な町づくりを

▼国民健康保険収入は、2億7443万円で前年度比5.4%の減。国保財政安定化のため、滞納世帯の減少に向けた取り組み継続を望む。

▼下水道事業は東港地区の企業に対し、下水道料金が値下げされた。今後の努力で接続率向上を望む。

▼水道事業、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、新潟県営開拓パイロット事業特別会計についても認定した。

### 一般会計決算・特別会計・事業会計決算

#### 平成27年度一般会計・特別会計等決算

会計名	歳入	歳出	採決結果	
一般会計	73億2279万円	69億4147万円	可決：賛成12・反対1	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	16億1385万円	15億9837万円	可決：全員賛成
	国民健康保険 施設勘定	1億3445万円	1億1571万円	
	介護保険	12億509万円	11億4114万円	可決：全員賛成
	後期高齢者医療	7257万円	7223万円	可決：全員賛成
	県営開拓パイロット事業	1064万円	639万円	可決：全員賛成
事業会計	下水道事業 収益的支出	7億2467万円	7億2755万円	可決：全員賛成
	下水道事業 資本的支出	1億2419万円	3億7852万円	
	水道事業 収益的支出	2億8086万円	2億5503万円	可決：全員賛成
	水道事業 資本的支出	9517万円	1億7650万円	
合計	115億8428万円	114億1291万円		
前年度対比	▲5.8%	▲6.0%		

### 決算審査特別委員会

平成27年度一般会計・4特別会計の歳入歳出決算および下水道事業会計・水道事業会計決算の7議案は、議長を除く13議員で構成された決算審査特別委員会に付託され9月13日・14日・15日・20日の4日間にわたり審査しました。

委員会委員長に青木順議員、副委員長に長谷川

六男議員を選任し、町長および町執行部の出席を求め慎重に審査し、20項目の意見をつけた上で一般会計は、賛成多数で認定し、特別会計等は認定しました。

本会議では、一般会計は、反対討論があり、賛成多数(賛成12、反対1)で認定、特別会計等では委員会の報告通り全員賛成で認定しました。



# 質疑あれこれ

## 決算審査特別委員会の主な質疑

### 空き部屋増えている 東山団地

**問** 東山団地は、最近、空き部屋が増えている。対策は考えているか。

**答** 現在、80部屋中、10部屋が空いている。応募する時は、下の階を希望するために、4階、5階が空いている。  
**問** 東山団地電算システムとは何か。

**答** 東山団地の家賃などのデータ管理をしている。

**問** 東山団地の管理人がいない時が多く、不便利という声がある。

**答** 月曜日から金曜日までは、午前中、管理人がいる。

**問** 東山団地電算システムとは何か。

**答** 東山団地の家賃などのデータ管理をしている。



▲メンテナンスは万全

### ハス再生の努力が実る



▲戻ってきたハス

**問** 弁天瀧のハスは、再生して良かった。あずまやの方だけではなく、全体に広がるように移植できないか。

**答** ハスの種類はたくさんある。今のハスがスィレンかは、分からない。

**問** 弁天瀧のハスは、亀の駆除と併せて自然に増殖した。できれば、ハスは自然に発生することに期待したい。今後、移植も考えられる。

**答** 弁天瀧のハスは、亀の駆除と併せて自然に増殖した。できれば、ハスは自然に発生することに期待したい。今後、移植も考えられる。

**問** 弁天瀧、位守山公園のハスの種類はスィレンだった。昔のスィレンの復元してほしい。

### 喜ばれたか アトラクション

**問** 敬老会のアトラクションについて、平成27年度は芸人を呼んだ。参加者の声は、どうであったか。

**答** 参加者の声については、特に悪い評価はなかった。今後、アトラクションについては、議論する。

**問** 敬老会の会場では、高齢者にとって聞きにくい音響設備であった。今後、どう考えているか。

**答** 平成27年度では、スピーカーが不具合であった。



▲子どもたちの踊りににっこり

### プランターだけが 環境美化ではない

**問** 重点地区の環境美化は、場所によってはすぐプランターが多い所と、そうでない所の差がある。この差は何か。

**答** プランター設置の多い場所は、町外から来る人の目につく所を重点地区とした。

**問** 重点地区の中で、国道113号線の歩道にプランターを置くのは、危険ではないか。プランターを置くだけが、環境美化ではない。

### 監査委員からの意見

代表監査委員 二宮 秀男  
監査委員 高松 守雄

#### 主な要望事項

▼町税の確保では、企業立地促進条例により、企業進出が行われても固定資産税は、実質3年間見込めない。町税全般に対する課税客体の把握と適正な賦課徴収を実施すること。

▼健康づくりについては、「健康せいろ21」を見直し、「健康ポイント制」など工夫を凝らした、一次予防に特化した実現可能な施策を具体化すべき。

▼現在、65人の育英生が育英資金の貸与を受けている。少数ではあるが、遅滞や未納がみられる。近年では国も給付型奨学金制度を検討している。町の定住化構想の観点を

盛り込んだ育英資金制度の給付型への見直しについて、制度の調査・研究をすべきである。

▼町営住宅は取得時の借入金の償還も終わり、年次的に改修工事を行っている。一方で、家賃の滞納は現年度および滞納繰越分を合わせると500万円を超え、1年近くの未納もある。収納体制を見直すべきである。

▼町には各種計画が策定されている。計画の最上位は、第4次聖籠町総合計画であるので、整合性を保ちながら内容の具現化と実効性を事務事業へ反映すべきである。

観音の湯ざぶ〜ん館条例の一部改正、定住自立圏形成協定の締結、平成27年度7会計決算など17議案を全て可決。

平成28年9月6日～21日(会期16日間)

# 9月定例会

## 例正 改正

### 貸部屋の利用 拡大になるか

#### 観音の湯ざぶ〜ん館条例

観音の湯ざぶ〜ん館の温泉棟2階にあった旧リラックスルームの利用方法を変更しました。

部屋を会議等でも利用できるように貸部屋料金を設定しました。併せて、宿泊棟1階の広間および浴室の料金を設定し、利用料金の規定を整理する

#### 主な質疑

ための条例改正です。

#### 収入見込み示すべきでは

【小川益一郎議員】 条例改正の提案の中に、料金を設定する理由や算出根拠、今後の収入見込み等示すべきではないか。

収入見込みは148万円

#### 料金の減免あるのか

【保健福祉課長】 旧リラックスルームについては、年間25件の利用を見込んでいます。今回の改正で、全体的に収入見込みは148万円である。

#### 減免はある

【保健福祉課長】 運営している「ざぶ〜ん館」からの検討報告では、会議から宴会へ利用する場合は、3時間以内であれば、貸部屋料金は無料である。また、3千円以上の飲

食をした場合も、貸部屋料金は無料である。

討論 なし  
採決 全員賛成

#### (主な料金設定)

- 温泉棟2階 旧リラックスルーム→ 大部屋3時間まで8,000円(延長2,500円/時間)
- 宿泊棟1階 広間→ 3時間まで8,000円(延長2,500円/時間)
- 宿泊棟1階 浴室→ 2,000円/時間(貸風呂)

#### (延長料金の見直し)

- 温泉棟2階 中部屋延長料金1,000円/時間→ 1,500円/時間



▲宴会利用で部屋代無料

## 議決案件

### 新発田市と共に取り組む事業

#### 定住自立圏形成協定の締結

新発田市、胎内市、聖籠町を圏域とする定住自立圏構想の推進に向けて、平成27年9月に新発田市が「中心市宣言」を行いました。その後、各政策分野における役割分担や連携して取り組む事業を検討、協議を進めてきました。これらの内容について、協議が整ったので、中心市である新発田市と聖籠町の定住自立圏形成協定の締結をするため、議会に議案として出されました。

#### 主な質疑

#### 項目を絞った理由

【小川益一郎議員】 協定書を結ぶにあたり、国の要綱は多項目にわたっている。新発田市との協定では、項目を絞っているが、理由は何か。

#### 実現できる事業にするため

【総務課長】 新発田市と当町のワーキンググループは、実現できると思われる項目を協定書に入れた。不交付団体には助成金が入らないことについては、国の決定である。

#### 負担を求められる事業は

【中村恵美子議員】 今後、共同の事業が行われる中で、道路等のインフラ整備は負担を求められると思うが、他に負担が考えられる事業は何か。

#### 負担割合は今後の協議で

【総務課長】 各項目の事業を進める中で、事業費の

#### 町としての重点項目は

負担割合について、今後、協議をする。

【五十嵐利栄議員】 協定の中に入れた項目の中で、特に重点項目は何か。

分野ごとに定期的な協議をするのか。圏域内の職員交流の項目では、具体的に何を考えているか。

#### 全て必要な項目である

【総務課長】 項目にあげてある事業は全て重要である。分野ごとの検討は、担当部局ですが、新発田市との総合的な窓口は総務課である。人事交流については、検討課題である。

「定住自立圏構想」は、平成の大合併でできなかった自治体数の集約、集中を国として促進することにつながる。採決 賛成12 反対1で可決

#### 討論

反対 中村恵美子議員

## 教育委員に 佐久間千都さん(新任)



さくま ちづ 佐久間千都さん (蓮濁)

教育委員会委員の伊藤恵美子さんが平成28年10月31日で任期満了になることから、後任に佐久間千都さんの任命を無記名投票によって、全員賛成で同意しました。



▲意外と近い聖籠町と新発田市

### ●定住自立圏構想の取り組みを進める

子どもたちの町政に対する関心の高さを知る機会となりました。

### ●「新潟聖籠病院」9月1日開院

▼地域医療の拠点「新潟聖籠病院」が9月1日開院しました。今後は病児・病後児保育事業をはじめとする、少子高齢化に対応した施策について連携を図ります。

### ●子ども議会を開催

▼第67回新潟県消防大会ポンプ操法競技会にて、次第浜第四分団第5班が、小型ポンプの部で優勝、第四分団第6班がポンプ車操法の部で3位になりました。

## 行政報告



わたなべ 渡邊町長

▼70年ぶりに選挙権が18歳以上に引き下げられ、初の国政選挙となりました。参議院議員通常選挙は、与党の議席数を大きく伸ばす結果となりました。

▼生涯活躍のまち構想については、調査機関と契約を締結し、調査・検討を進めています。

▼国際交流については、8月7日から12日にかけて16人の小・中学生が、ハルビン市を訪問しました。

▼子ども議会を8月22日、3小学校6人と聖籠中学校6人の計12人で、3年ぶりに開催しました。

▼生涯活躍のまち構想については、調査機関と契約を締結し、調査・検討を進めています。

▼国際交流については、8月7日から12日にかけて16人の小・中学生が、ハルビン市を訪問しました。

## 読者の声



いりやま みさと 入山 美里 さん (真野)

### 息抜きの場所「さくらんぼ」

もうすぐ1歳を迎えるやんちゃな娘が一人。ただいま育児奮闘中の新米ママ。毎日が初めてのことばかり。娘の成長を楽しみながらも子育てって大変!!と頭を悩ませる日々。

息抜きの場所。日曜を除き、ほぼ毎日、保育園の一室を開放してくれている。同年代の子どもが集まるので娘にとってもいい刺激になり、何よりおもしろい動き回れるスペースがあるのありがたい。

また、家庭での保育が困難になった場合に利用できる「一時預かり」も実施されている。私も安心して子育てができる事業の一つだ。

そんなとき助けてくれるのが聖籠町の子育て支援「さくらんぼ」の存在だ。同年代の子どもを持った親子が集まるのありがたい。

息抜きの場所。日曜を除き、ほぼ毎日、保育園の一室を開放してくれている。同年代の子どもが集まるので娘にとってもいい刺激になり、何よりおもしろい動き回れるスペースがあるのありがたい。

また、家庭での保育が困難になった場合に利用できる「一時預かり」も実施されている。私も安心して子育てができる事業の一つだ。

## みなさんの 請願・陳情

第3回定例会では地域住民より直接の声となります。請願2件を審査し、全員賛成で採択しました。

### 採択した請願

◎「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願

〔提出者〕 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村 直美  
〔紹介議員〕 小林 政栄・長谷川 六男

◎新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する請願

〔提出者〕 新潟水俣病阿賀野患者会 会長 山崎 昭正  
〔紹介議員〕 小川 益一郎・宮沢 光子

### 意見書を国に提出

第3回定例会で3件の意見書が提出され、全員賛成で可決されました。可決された意見書は、国・県の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

- ◎学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書(国あて)
- ◎学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書(県あて)
- ◎新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書

## 新潟聖籠病院へ合同視察調査

8月5日、厚生産業・総務文教常任委員会により、新潟聖籠病院へ合同視察調査を行った。

病児・病後児保育については、一定の条件を満たす児童が対象となる。利用日時は月々金曜日、午前8時30分～午後5時30分。原則1病室につき連続して7日まで。

医療・介護・リハビリの環境を整備し、開かれた地域密着型病院を目指すとしている。診療科は内科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科である。

定員は3人まで。利用料は、1日2千円、食事代、医療費は別途となる。(文責 青木 順)

一般病棟60床、療養病棟120床、人工透析は20床ある。外来時間は午前8時30分から11時30分、午後1時30分から4時30分。休診日は日曜、祝日、年末年始。



### 県町村議会議長会より表彰



須貝 龍夫議長

議会議員として、多年にわたり地域の振興発展と住民福祉の向上に寄与された功績に対し、このたび(平成28年6月)、須貝龍夫議長が新潟県町村議会議長会より表彰されました。

# 循環バス 新潟聖籠病院まで延長

## 一般会計補正予算

### 主な歳入

- 臨時福祉給付事業費補助金 1350万円
- 臨時福祉給付事務費補助金 413万円

### 主な歳出

- 公共施設等総合管理計画策定業務委託料 605万円
- 個人番号制度システム総合運用テスト業務委託料 560万円
- 臨時福祉給付金扶助費 1350万円

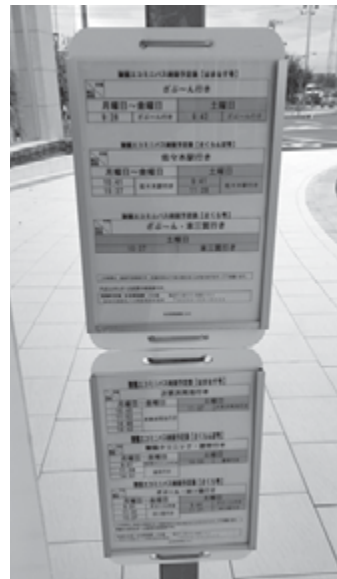
**修繕料の中身は** 中村恵美子議員 学校管理費の修繕料の具体的な中身は。

**3つに係る修繕料である** 子ども教育課長 中央監視装置およびメールシステムの改修、照明器具の修繕に係るものである。

**扶助費の増額理由は** 宮沢光子議員 補装具給付事業等扶助費が増額している。高額な車いす等の利用者が増えたのか。

**車いすや義足が給付対象** 保健福祉課長 車いすが70万円、50万円、義足60万円程度のもので給付対象となったためである。

**循環バス新規ルート設けるのか** 五十嵐利栄議員 病院開院に伴い、各路線におい



▲わかりやすい時刻表を



▲もっと便利にエコバス

平成28年度一般会計補正予算は既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5790万円を追加し、総額72億1103万円と定める予算を全員賛成で可決しました。

主な質疑は歳入で、個人番号制度に伴うシステム改修補助金と情報セキュリティ強化対策費補助金の負担割合はいくらか。

追加機器など導入のため

### 主な質疑

#### 補助金の負担割合は

中村恵美子議員 個人番号制度に伴うシステム改修補助金と情報セキュリティ強化対策費補助金の負担割合はいくらか。

#### 各省庁で異なる

総務課長 個人番号制度に伴うシステム改修補助金の補助率は厚生労働省が3分の2、総務省は10分の10である。

情報セキュリティ強化対策補助金の補助率は2分の1である。

#### 循環バス委託料の内訳は

中村恵美子議員 ダイヤ改正に伴い、新潟聖籠病院まで路線が延びた。委託料も増額となったがその中身は。

生活環境課長 新潟聖籠病院の開院に伴い平日、土曜の増便と、バスの音声合成データの追加、方向幕の作成料によるもの。



▲徹底した情報管理を

特別ルートができ、病院専門で行くのか。

#### 1路線新設した

生活環境課長 乗り継ぎがうまくいかないため、1路線新設した。しかし、プラント4聖籠に向かう便を病院まで延長する路線がほとんどである。

#### 時刻表が見にくい

五十嵐利栄議員 バス利用者は年配者が多い。誰が見ても分かりやすい時刻表となるよう検討してもらいたい。

#### 来年度に向け検討する

生活環境課長 声があがっていることは把握している。来年度に向けて分かりやすいものに変えていく。

#### 図書館の登録者数は

五十嵐利栄議員 図書館の入館者数や貸し出し数

が増加している。聖籠町、新発田市、新潟市の新たな登録者数は把握しているか。

後の平成26年度と平成27年度の登録者数の比較は、聖籠町民は313人の増、新発田市民は484人の増、新潟市民は93人の増となっている。

#### 登録者数は増加

図書館長 新図書館開館



▲どんどん利用しよう図書館

# ズバリ直言!!

## 一般質問 町政を問う

- 9月議会では、11議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、11月末に町ホームページに掲載される予定です。

### 11議員が質問

**宮沢 光子 議員**  
 2 1 教育に生かせるか地域の力  
 どう考える防災意識の啓発 **P13**

**五十嵐 利栄 議員**  
 3 2 1 戸別所得補償の復活を  
 第三セクターの経営見直しは  
 750円をどれだけアップか **P14**

**長谷川 六男 議員**  
 2 1 どうなっている除草管理  
 生涯活躍のまち(CCRC)  
 構想の展望は **P15**

**小川 勝也 議員**  
 3 2 1 近隣市との地域連携は  
 町指定文化財の保存は大丈夫か  
 町の施設・設備の管理は万全か  
 その他の質問 **P16**

**小川 益一郎 議員**  
 1 投票率県内最下位 改善策は **P17**

**宮沢 さやか 議員**  
 2 1 交通事故危険箇所への対応は  
 介護予防事業の拡充を **P18**

**青木 順 議員**  
 2 1 中学生部活の方向性は  
 人口増に向け環境整備を **P19**

**田中 智之 議員**  
 2 1 町への要望増加どう考える  
 弁天瀧のハスの再生計画は **P20**

**中村 恵美子 議員**  
 3 2 1 高校卒業まで医療費助成を  
 子どもの貧困の実態は  
 中学入学準備金の3月支給は **P21**

**渡辺 豊 議員**  
 1 町の教育はどう進められて  
 いるか **P22**

**小林 政栄 議員**  
 1 なぜ基幹産業なのか **P23**

## 教育に生かせるか地域の方

### 教育長 地域の教育力を考えていく

**問** 8月5日、「幼・小・中12年カリキュラム」の全体会が開かれた。  
 本来、教師の会であるが、学校に関わる地域住民にも案内がきた。地域住民にとって、会の趣旨が分かりにくかったと思う。教育委員会があえて、広範囲に案内を出した意図は何か。  
 道徳教育が、学習指導要領の一部改正で、道徳科として、小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から、授業が完全実施される。昨今、町の教育に関心

を寄せる地域住民が多い。「幼・小・中12年カリキュラム」を基に、地域住民の力を道徳教育に生かすことができるか。  
 8月22日、3年ぶりに「子ども議会」が開催された。今回、一般質問の中で具現化できるものがあれば、子どもたちに伝えてあげることが大事である。主権者教育の一環として、「子ども議会」を継続してほしい。教育委員会はどうか考えているか。  
 「子ども議会」については、町全体で子どもを育ててもら

身近な社会問題等を意見交換する場なども考えていきたい。  
 「子ども議会」については、さまざまな学びにつながるので、可能であれば毎年、開催したい。質問された事項には、きちんとした形で応えたい。

道徳の教科化については、趣旨、指導の方法、評価等を準備している。児童・生徒と地域住民が

## どう考える防災意識の啓発

### 町長 「まちなか防災訓練」を継続

**問** 町恒例の「まちなか防災訓練」では、訓練のメニューが町行政の当初、提案したものが主流である。新メニュー等の提案はないのか。  
 県では、学校単位で防災の推進事業に取り組んでいる。地域と学校が連携して防災訓練を行っているところもある。当町の防災・減災教育はどうなっているか。  
**町長** 町で考えられる訓練メニューは、出尽くした状況である。防災意識の啓発の原点は「まちなか防災訓練」にある。  
**教育長** 本町では、県の防災教育推進事業には取り組んでいないが、各学校では、避難訓練など年3回実施している。



宮沢 光子議員



▲サポーターと共に音楽祭の練習はじまる



五十嵐 利栄議員

# 戸別所得補償の復活を

## 町長 組織を活用して国に進言

**問** コシヒカリの全農仮渡価格1万3600円は、4年前の1万5500円対比1900円安で、米価の低価格現象は続いている。国は平成30年から戸別所得補償も廃止する方向であり、米あまり状態が続く中で、TTP交渉でさらなる輸入拡大など、コメ農家は厳しい。国に対して、戸別所得補償の復活を強く要請すべきではないか。

**町長** ハード面では、県内2番目に低い基盤整備事業を積極的に進めるべきと考える。特に諸条件をクリアすれば地権者負担ゼロで実施可能な整備事業を進められないか。

**町長** 状況厳しいが頑張る  
第三セクターの経営見直しは

町長 聖籠の杜の赤字決算理由は、ボイラー改修

**問** 10月から新潟県の最低賃金が、731円から23円アップし、753円となる。町は現行750円の職種を含めてどう対応する。また、非正規職員の1日当たり労働時間は隣接市町の大半が正職員と変わらない7時間45分である。町も働く人の立場から、現行7時間を7時間45分に変える考えはないか。

## 750円をどれだけアップか

町長 760円に改正する



▲1年の汗が実るとき

分かりやすい政策を出すよう進言していく。聖籠土地改良区は基本的に大型基盤整備を推進する考えである。町も大いに支援していく考えた。



長谷川 六男議員

# どうなっている除草管理

## 町長 協議会の中で検討

**問** 県立聖籠緑地公園から加治川治水記念公園までの派川加治川は、県営地域用水環境整備事業を導入した。地域住民への憩いと安らぎ、潤い空間を提供するという名目で、工事が平成24年に完了した。

現在、聖籠町と新発田市が管理をしていると聞く。しかし、本町側の派川加治川は、ほとんど管理をしていないのが現状だ。左岸側は遊歩道、右岸側は農道で桜の木が植えてある。遊歩道は、草で覆われて通れない箇所

が多々ある。右岸側は、草に埋もれて生育が妨げられている桜の木もある。工事了らから手付かずのまま、景観のため川底に置いた大小の石などは、ヨシや他の草で全く見えなくなっている。雑木も大きくなり、野鳥のすみかとなっている。地域の農家は、毎年秋の刈りの時期になるとスズメの被害にあう。「少し木を切るなど何とかして欲しい」と悩んでいる。

**町長** 管理は、新発田市、聖籠町、紫雲寺土地改良区および聖籠土地改良区で組織する、派川加治川水環境保全協議会で行っている。

どのように管理をしているのか。  
**町長** 管理は、新発田市、聖籠町、紫雲寺土地改良区および聖籠土地改良区で組織する、派川加治川水環境保全協議会で行っている。現在は、農家組合やシルー人材センターに委託している。目が行き届かないというよりは、結局、雑木等の成長が早過ぎた結果、農家の方にも迷惑をかけている。今後、時機を見ながら抜本的に川底の整備をし、節目、節目に検討を加えていく。



▲癒やしの水辺に戻して

# 生涯活躍のまち (CCRC) 構想の展望は

## 町長 構想の展望は研究会の議論に期待

**問** 東京圏から地方へ高齢者の移住を促進し、地方創生につなげたいと考えるCCRC構想については、南魚沼市で策定された。  
本町においても、CCRC構想研究会を立ち上げ、会議を行っている。町として現在示せる条件や、今後の展望として具体的なもの聞く。  
**町長** 第2回構想研究会を開催した。本町の地域特性の将来展望を踏まえた上で、現在、調査・検討中である。したがって、現状においては構想実現を、前提とした考えを示すことはできない。





小川 勝也議員

# 近隣市との地域連携は

## 町長 魅力ある町づくりに努めている

**問** ①近隣市との地域連携で、新潟市のベッドタウンとしての機能強化のため、通勤者への優遇策など、町の施策が必要ではないか。

②計画を検討しているCRC構想において、近隣市との連携は考えているか。

③新発田市の循環バスと、聖籠町のエコバスの連携はできないか。

④新発田市の「イクネスしばた」にある図書館や観光案内施設と、町の関連部署との連携はできないか。

**町長** ①ベッドタウンとしては、ある程度の必要条件は備わっているのですが、今後も、魅力ある町づくりをする。

②構想の実現に関して、

近隣市との連携の可能性も含め検討する。

③定住自立圏構想の枠組みの中で協議し、利用しやすい運行を目指す。

④旧図書館のころから、相互貸借を行っている。今後は、定住自立圏構想の枠組みの中で検討。

## 町指定文化財の保存は大丈夫か

### 教育長 所有者・管理者に適正保存を奨励

**問** ①町指定文化財の今後の保存と公開予定は。

②現在、進められている聖籠観音の補修工事と、

そこに交付されている補助金の内容は。

③絆（きんづな）楼周辺の歴史エリアの今後の整備計画は。



▲越後三十三観音の二十九番札所

**教育長** ①所有者等に保存維持の補助金などを交付して、適正保存を推奨。

②観音堂の土台と回廊の修復工事で、補助金の限度額300万円を交付予定。

③歴史エリアの整備は計画していない。

④町施設に、極端に利用頻度の少ないものはないか。

## 町の施設・設備の管理は万全か

### 町長 適正に稼働・運営に努める

**問** ①教育委員会、総務課など、同じような定員のバスが複数台ある。相互利用されているようであれば台数を減らし、不足する場合は外注で対応することはできないか。

②診療所の内視鏡は活用されているか。

③町道の状態は把握でき

**町長** ①それぞれのバスに配置目的があり、台数を減らす考えはない。

②新潟聖籠病院と診療所との医療連携での有効活用を検討中。

③定期的に道路パトロールを実施しているが、情報提供をお願いしたい。

④適正な稼働状況である。さらにPRを行い、利用促進する。

### その他の質問

**問** 臨時・パート職員組織図を公表できないか。

**町長** 検討する。

# 投票率県内最下位 改善策は

## 町長 棄権防止のため選管と連携する

**問** 第24回参議院議員選挙が7月10日執行された。今回の選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き上げられて初めての国政選挙となった。

若者が政治にどう向き合うか、大変関心のある選挙であった。

JAPANサッカーレジャーズに期日前投票所を開設し、若者や町全体の投票率向上に向けた取り組みは評価したい。

しかし、肝心の投票率は、県内30市町村最下位の53・91%であった。町内の各投票所では、

1位が62・13%、最下位は48・66%であった。

聖籠町は、町長選挙、町議会選挙以外は、県下最下位に甘んじているのが実態だ。

①この原因は何か。

②聖籠町の選挙土壤を改めるにはどうすべきか。

③選挙管理委員会の努力だけでは限界がある。行政の力量が問われていると思うが、行政力をどう発揮する。

④教育がベースに潜んでいると思うが、学校教育・社会教育を通じて、どう指導実践できるか。

⑤選挙は結果が全てである。どのような良論でも結果責任である。町長はどう考える。

⑥誇れる町づくりを掲げている渡邊町政である。県下で胸を張れる投票率を期すべきと思うが、町長、教育長、選挙管理委員長の見解は。

**町長** 基本的に投票に参加する、しないは国民の義務または権利である。棄権することが権利と考えるのであれば、棄権防止の対応を選管に考えてもらい、町は協力する。

選挙に関しては地方自治法の規定で選挙管理委員会の設置が定められており、選挙に関する事務およびこれに係る事務を管理することになっ

ている。

**教育長** 主権者教育につながるように社会科の学習や総合学習の中で指導する。広報せいろう、議会だより、社会教育だより等を教材に、町民自治につなげていきたい。

**選挙管理委員長** 投票率の低下は、原因として有権者が投票所に足を運んでいないことである。啓発活動等を通じて、

有権者に対し投票が国民の権利であるとともに、政治に参加する最も重要な手段であることを周知し、投票しやすいような環境づくりに努めたい。



小川 益一郎議員



▲棄権するな投票



宮沢 さやか議員

# 交通事故危険箇所への対応は

## 町長 注意喚起の看板設置をする

**問** 本町での交通事故発生件数は減少傾向にある。これは安全協会や母の会、交通安全指導員による啓発活動も功を奏していると思う。しかし、現実に交通事故の発生を予測することは困難である。

**町長** ①交通安全指導員の町内巡回や、毎週金曜

に実施している防犯パトロール時等、母の会や安全協会からの情報も得ながら確認している。

②今後も注意喚起が必要な場所への看板設置や、交通安全施設の維持管理を徹底する。

町民への交通安全指導の普及と交通事故ゼロを目指し、交通安全対策を展開していく。

**問** 本町の介護予防事業は、現行一次予防事業、二次予防事業を実施しており、健康教室やらくらく教室、なごみの会への参加推奨を行っている。

**町長** さらなる業務の拡充を図る

後、民間病院との連携も考えているか。

**町長** ①誰もが参加しやすい介護予防事業であるには、各集落での開催が望ましいと考える。現在23集落で運動教室を開催している。今後も全集落

で開催できるように、業務の拡充を図っていく。

②基本的に連携をしていく。また、今後は介護予防事業において、認知症対策事業の協力要請も進めていきたい。



▲日々の運動が健康につながる

# 中学生部活動の方向性は

## 教育長 健全な成長を考えていく

**問** 現在行われている部活動の参加状況、今後生徒の増減による部活動の増減で教育現場に与える影響はどの程度か。

また、好成績を求めれば求めるほど、子ども、保護者、顧問の先生などの費やす時間は増えるのは当然だが、部活動全体的に見て、時間配分は妥当か。子どもたちの部活動に対する、満足度はどの程度か。こんな部活動があったらいいなという声はないか。全国的に顧問の負担増は問題視されている。外部の指導者、

ボランティアの協力は検討しているか。

**教育長** 教育に与える影響については、大きいと考える。時間配分については、季節、日没等を考慮し、他中学校とほぼ同じ時間帯なことから妥当と考える。満足度については調査はしていないが、大体の生徒は満足していると考え、科学部などを設置してほしいとの声を聞いている。

町では3人の外部指導者をお願いしている。教師、保護者、子どもにも負担が生じる。何よりも

健全な成長のためどうするか考えていきたい。



青木 順議員



▲楽しいなかにも厳しさを

**問** 聖籠町を担う若者を育てなくてはならない。先日開かれた子ども議会では、町のことを思う子どもたちの声は力強く感じた。全国的に人口減については重い問題と捉え、定住者向け、子育て世代への補助制度など独自の政策を設け、取り組んでいる。幸い町は人口微増で推移しているが、若者の大都市、地方への流出は今後、増えると危惧している。人がいなくなったら、どんな町になるか、

# 人口増に向け環境整備を

## 町長 成果を見ながら努力する

5年後、10年後を見据え、早めの対応がより良い結果を招くと感じるが。

**町長** 人口の社会減は県内市町村共通の課題であると認識している。20歳から24歳の年代においては転出超過となり、転出理由は学業であり、県外への転出が目立つ。反対に、25歳から39歳の年代では転入超過となる。

理由は職業であり、県内からの転入が目立つ。2020年ごろから減少傾向に転じ、2050年ごろには1万4千人を切ると推計している。

生活の居を構え生活していくには、さまざまな政策が総合的に組み立てられ、成果が出ると理解している。



田中 智之議員

# 町への要望増加 どう考える

## 町長 町民の意思の醸成・確認と捉える

**問** 広報せいろの「町政ポストQ&A」コーナーで、町民から町に対して寄せられる意見や提案、要望などが年々増えている。昨年度は月平均2件だったが、今年度は月平均3・4件のペースだ。増加の要因は、町政に積極的に参加する町民が増えている、とも考えられる。一方、行政の目が町の細部まで行き届いていない。また、集落・地域の問題を解決するプロセスが周知されていないという見方もできる。

町民が地域や個人の問題を、直接町に訴えることには違和感も覚える。

①ハガキやメールによる町民からの苦情や要望が増えている現状を、町は

どのように捉えているか。

②町民の声なき声を聴くために、町はどのような努力をしているか。

③町民が、自分や地域の要望を町に届けるには、本来どのような手順を踏むべきと考えるか。

**町長** ①行政が対応すべき課題が多いとも捉えている。町民から声を出してもらうことで相互理解が深まり、協働による町づくりが進められる。

②町政ポストやメールへの対応をしている。町長としては集落に向き、ふれあいトークを実施。

③行政が対応すべき事案は、その担当部署へ。集落内の多くの住民が関わる問題は、要望・陳情という形で出してもらいたい。



▲よみがえりつつあるハス

## 弁天潟のハスの再生計画は

### 町長 アカミミガメが原因か

**問** ハスが消えてから相当の年月がたった弁天潟だが、町の「ハス再生プロジェクト」により昨年からは再生し始めた。ハスを由来に持つ蓮野集落の住民、また校歌に歌われている蓮野小学校の卒業生にとっても、弁天

**町長** ハス枯れの原因は、

外来種のアカミミガメ(通称ミドリガメ)が放され繁殖した過程での食害と考えられる。平成26年度から亀の捕獲を始めた結果、27年度に4本が開花、現在はおおむね200本の開花となった。

プロジェクトの最終目標は、潟全体をハスの花が彩る弁天潟の再生であり、今後、生育範囲が広がることを期待している。

# 高校卒業まで医療費助成を

## 町長 拡大の考えはない

**問** 児童福祉法では18歳に達するまでを児童とし、第2条で「国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う」と規定している。本来は18歳までの医療費を国の責任で無料にすべきと考えている。

子どもの医療費助成は、高校卒業まで拡充させるべきと考えるがどうか。

町では無料化も進み、月に2回目以降が無料化となり大変喜ばれている。小学校卒業まで、初回か

ら無料化にすべきと考えるがどうか。

**町長** 当面、町としては高校まで医療費助成を拡充する考えはない。

子どもの医療費の無料化については、医療費は本来、病気やけがの程度や範囲により格差がある。それを一律無料とすることは、公平公正の観点から制度に合わないと考ええる。現行の条件で、助成を行っていく。



▲おしゃべりを楽しむ子どもたち

## 中学入学準備金の3月支給は

### 子ども教育課長 新潟市も含めて調査したい

**問** クラブ活動費、学級会費、中学入学準備金の3月支給は、どのような状況か。

**教育課長** 学級会費は、町立小・中学校では現在徴収していないので、支給は考えていない。

クラブ活動費については、支給している自治体が全国調査では、17・9%と低く、現時点では考えていない。

**子ども教育課長** 中学入学準備金の3月支給は、新潟市も含めて調査したい。



中村 恵美子議員

## 子どもの貧困の実態は

### 町長 予測できる世帯の把握

**問** 日本の子どもの相対的貧困率は、16・3%(平成24年度)にも上っている。これを人口分布にあてはめると、0〜17歳人口では約328万人が相当することになる。また、貧困の子どもたちの約1%に相当する子どもが、児童養護施設に入所している。

子どもの貧困とは、子どもが「あってはならない」状況で生活していることである。子どもの貧困について、つかんてい

るか。どんな対策をしているか。

**町長** 貧困というのは、隠れていることが多く、表面に出にくい。

妊娠届時のアンケート結果では、経済的な不安・心配を抱えていると回答する世帯が増えている。

その都度、関連する制度の提供や個別支援対策をしている。背景に経済問題を抱えていると予想できる世帯の把握はできている。



渡辺 豊議員

# 町の教育はどう進められているか

## 教育長 就学前の教育は大切

**問** 町は、12年カリキュラムを定め、幼児教育も含め実現に努めている。国は、子どもの教育に三つの要素をバランスよく育てることを求めている。

① 中学校の校舎は教科センター方式に合わせて整備されたが、その費用対効果を、どう検証するか。

② NRTは、段階的にどのレベルまで高まるのが望ましく考えるか。

③ 新教育長制度により、何がどう変わったのか。

④ 小学校入学前の教育が大切といわれるが、本町ではどう実践しているか。

⑤ 幼児教育において、先進地視察や、先進的教育を実践している、外部の保育士や先生を招聘する

考えはないか。

**教育長** ①開校当初に比べると確実によくなっている。それは、NRTの結果や、全国学力・学習状況調査の結果、問題行動の減少、不登校率の減少などのデータが示している。

NRTは、ここ二、三年の結果では、5教科の平均で51点から55点までの間で大変な成果だ。生活態度や学習態度、各種行事への取り組みの状況もよくなった。教科センター方式による、きめ細かい指導の効果が出たものと考ええる。

②平成32年度までには、5教科の平均で50・5ポイント以上が目標。

③国の方針のとおり総合教育会議を置く。その中で教育大綱を策定する。

④幼稚園の学習指導要領や、保育所の保育指針などの見直し、今進められている。その中では、認知能力と非認知能力とが相乗的に伸びていくという考え方が大変強調されている。

本町では、集団生活を通して自己肯定感、あるいは自己有用感を醸成して、自信を持って生活できるようにすることが大事と考えている。自然環境の中で、豊かな心情を育み、一方で絵本などの読み聞かせなどで、言葉、語彙が豊富になっていく



▲身も心も健康に

ことも大事と考える。

⑤一人一人の資質や能力が高まるように努めている。

今後も研修を工夫していくことを考えている。

# なぜ基幹産業なのか

## 町長 基幹産業の理解が異なる

**問** ①町長は就任以来、町の基幹産業は農業であると明言している。

現在の農業の実態は非常に厳しく、本町の農業が、本町経済活動の基礎の産業を成しているとは考えられない。その真意を説明せよ。

②町長のいう基幹産業である農業の生産基盤である農地が、年々、遊休化ないし耕作不能化している現状について、どのように捉えているのか。また、どのように対応しようとしているのか。

③平成30年に予定されている転作の廃止によって、水田農業は大きな困難に直面する可能性もある。

本町農業は収入の多くを稲作に依存している。米の産地間競争の激化も予想される中、水田農業の今後について、どのよ

うに対応しようとしているのか。

**町長** ①本町の経済活動においては、農業生産額はわずかであるため、基幹産業とはいえないかもしれない。

ただ、町の面積の42%が農地であることや、地域活動における農業が果たす役割が大きいことから、基幹産業といっている。

②農地利用最適化推進委員を中心として、全農地の調査や関係者への連絡の実施し、遊休農地発生を抑止・解消に努めるとともに、町の遊休農地対策事業を積極的に活用してもらいたい。

③農協改革、農政の変革が推進される中、制度の変更や縮小廃止等があれば、国や県の動向を注視しながら、関係者の意見

も聞き、町の実態に照らし合わせ、必要に応じてきちんと対応するとともに政策として実施していきたい。



▲荒れた農地

▲収穫に集中



小林 政栄議員

## 住民に読まれ伝わる情報へ

### 広報広聴

7月13日、全国町村議長会主催の広報研修会に参加した。

研修内容は、東京都千代田区の全国町村議員会館2階会議室にて、午後1時30分～午後5時まで、講師の議会広報サポーター芳野政明さんに、各町村の広報クリニックをしてもらった。

聖籠町においては、住民参加企画が多く、写真の活用など読みやすいページが多い点が、一定の



評価をもらった。これまでの改善の蓄積が、実を結んだと思われる。

しかし、先進事例で示された山形県川西町をはじめとする、最優秀の広報までには、さらなる改良・改善が必要だと思われる、大きな刺激を受けた。

今後は、これまでの実績を踏まえさらに全国レベルの議会広報にすべく、町民に分かりやすく、読まれる広報を目指す。

(文責 小川勝也)

## 議会基本条例の制定を目指して

### 議会運営

8月12日、新発田市議会の基本条例制定に関する取り組みについて、視察研修を行った。

新発田市議会では平成21年2月に基本条例を制定している。

基本条例の意義としては、その制定により、首長の意思決定に参画する新たな政策形成方法が構築されたとしている。

制定に当たっては、議会運営委員会での検討の前に議長の私的諮問機関が設置され、そこで議会



改革に関するさまざまな議論がなされるなど、十分な時間をかけ、慎重に検討がされていた。

今後の課題としては、議会報告会への参加住民が少ないことを危惧しており、そのためにさまざまな工夫を行っていた。

これらのことは、今後、本町で基本条例を検討していく上で、大いに参考にするべきことと思う。

(文責 田村富美男)

# 見て聞いて 委員会

## 話し合った

# レポート

7月19日・20日、岡山県倉敷市の農業支援策および、ふなおワイナリーの生産・加工・販売までの運営、北興化学岡山工場、玉野市・宇野港クルーズ客船の受け入れについて視察調査した。

倉敷市は古くから農業を基幹産業とし、生産量全国1位のマスカット、2位のスイートピーは船穂地区で生産されている。消費の拡大を狙い、約4年の歳月を経てワイン工房を建設。自らブドウ栽培を行い、品質の管理を

徹底し、付加価値を追求していた。また、新たな生産者確保のため、研修センターも併設されている。

聖籠町に進出した北興化学は地元産業活性化のため、相互理解の上、さらなる発展を望む。

宇野港については、平成28年度は16回の寄港を予定している。観光資源を含め、経済効果を生む仕組みづくりに取り組んでいた。

(文責 青木 順)

## 北海道千歳市と 上士幌町を視察

### 総務文教

7月7日・8日、「ICTを活用した教育」に積極的に取り組む千歳市と、「ふるさと納税」寄附金額が全国上位の上士幌町の視察を行った。

千歳市では市内全ての小・中学校に電子黒板、実物投影機、デジタル教科書などICT機器が導入されており、教育の質の向上、ひいては学力の向上に効果を上げている。

上士幌町は昨年度16億円超のふるさと納税寄付金を集めた。これは充実



した返礼品の成果と言え、集めた寄附金は主に子育て支援事業に充てられている。また、官民一体となった返礼品開発が地域の活性化や産業振興に貢献しており、その結果、人口増となっている。

「ふるさと創生」にはさまざまなアプローチがあるが、住民の利益を追求する姿勢と、地域の独自性を発揮することこそが基本であると再確認した。

(文責 田中智之)

## 経済効果を生む仕組みづくり

### 厚生産業



## ☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の**定例会**は、  
**12月6日(火)**開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。あなたに身近なこともかもしれません。お気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができますので、都合で議場に來られない方もぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望など、お気軽にお寄せください。



### ★表紙の写真★

「青空に向かってファイト!!」

9月3日(土)、聖中祭。  
裸で立ち向かった勇敢な姿にエールを送ります。  
(撮影 長谷川 六男)

### 発行責任者

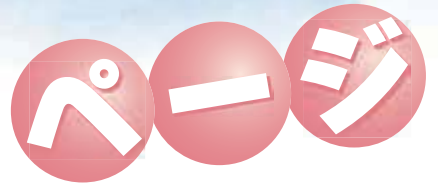
議長 須貝 龍夫

### 広報広聴常任委員会

委員長 宮沢 光子  
副委員長 小川 勝也  
委員 中村恵美子  
渡辺 豊  
長谷川六男  
宮沢さやか

# みんな

# の



## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

### 笑顔であいさつをしてくれ ほっこりします



よこやま ちひろ  
横山 千尋 さん  
(藤寄)

**Q** どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

友人の紹介で知り合いました。

**Q** 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

免許センターが近くてうれしい!! (笑)  
サクランボやブドウ、果物がたくさんで、ステキな町だと思いました♡

**Q** 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)

ごみ出しに行き近所の人に会うと、笑顔であいさつをしてくれ、ほっこりします。横山家の皆さんは「ちひろちゃん野菜あるよ～、持ってきた」など、たくさん話しかけてくれ、毎日楽しく過ごしています。

**Q** 町に望むことはありますか？

安心・安全な町であれば、それで十分です！

今回は、新潟市西蒲区出身で平成28年4月に嫁いで来た横山千尋(旧姓 佐々木)さんです。  
皆さんよろしく願います。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(Tel.0254-27-1967)までご連絡ください。

## 編集後記

8月22日(月)、3年ぶりに子ども議会が開催されました。

将来の子どもたちに議会の仕組みを知ってもらおうという試みなのですが、議員顔負けの質問があり、私は驚かされながら傍聴しておりました。

議会では、一人でも多くの町民に議会活動を知ってもらい、声を聞くことで身近なものになっていただければと、議員全員が感じているところです。そこで、議会を活性化させるためにと、議長が先頭に立って、議会改革の一つとして、議会基本条例の制定に向けて議論しているところです。

広報委員会では、少しでも多くの皆さんから議会だよりを愛読していただけるように、試行錯誤しながら作成しております。

お気付きの点がありましたら、お近くの広報委員または事務局までお願いします。

広報広聴常任委員会  
委員 長谷川 六男